



県内経済の動き

概 況

〔2025年9月～2025年11月の動き〕

緩やかな回復が続く

鉱工業生産指数（9月）は2カ月ぶりに前月比上昇、通関輸出額（10月 細島港）は5カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（10月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（11月）は5カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（10月）は2カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（11月 保証対象請負総額）は6カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（10月）は前月比▲0.04ポイントの1.17倍で、11月の企業倒産は前月比4件減の3件、負債総額は同1億59百万円減の5億14百万円となった。

景気は緩やかに回復しているものの、最低賃金の引き上げで県内企業の負担は増している。価格転嫁や業務効率化の動向を注視したい。